



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月14日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 村上 真之助
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役 管理本部長（氏名） 安岡 信幸（TEL）0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	49,963	24.0	1,901	48.5	1,973	36.0	1,026	49.3
26年2月期第1四半期	40,278	13.7	1,280	△12.8	1,451	△7.4	687	△0.5

（注）包括利益 27年2月期第1四半期 1,254百万円（26.5%） 26年2月期第1四半期 991百万円（37.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	36.67	—
26年2月期第1四半期	24.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	95,443	44,352	42.2
26年2月期	85,643	43,533	46.1

（参考）自己資本 27年2月期第1四半期 40,317百万円 26年2月期 39,493百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	98,000	20.3	3,000	19.2	3,200	15.3	1,800	22.8	64.28
通 期	200,000	18.2	6,400	12.6	6,700	9.3	3,700	11.7	132.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料の3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	32,267,721株	26年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	4,265,305株	26年2月期	4,265,241株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	28,002,473株	26年2月期1Q	28,005,339株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中でありませ

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、全般的には緩やかな回復基調にあり、大企業を中心に企業業績も回復しつつあります。しかし、当食肉業界は、世界的な食肉需要の増加や円安、家畜感染症の蔓延による原料相場の高騰と、国内での消費不振との板挟み状態にあり、この状況は当面継続するものと考えられます。ただ、消費増税による消費減退の影響は、食品を扱う業界においては限定的なものに止まっております。このような状況のもと、当社は、かねてより進めている食肉関連事業の垂直統合を更に進めることにより、グループ事業の安定化と競争力の強化に努めました。

食肉等の製造・卸売事業においては、製造事業は、本年1月にグリコハム株式会社をグループに加えたことにより、売上規模が大きく拡がりました。さらに、販売チャネルおよび販売アイテムの相互乗り入れや、原料の共同仕入などの相乗効果の発揮に取り組みました。卸売事業は、提案型商売の推進により国内販売のシェアアップを実現すると共に、和牛の輸出事業の拡大のための準備を着実に進めました。食肉等の小売事業においては、従業員教育や作業オペレーションの改善、イベント等に向けた提案型販売の強化を進めました。食肉等の外食事業においては、ステーキレストランチェーン事業の競争力向上のための施策を実施しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高499億6千3百万円（前年同四半期比24.0%増）、営業利益19億1百万円（前年同四半期比48.5%増）、経常利益19億7千3百万円（前年同四半期比36.0%増）、四半期純利益10億2千6百万円（前年同四半期比49.3%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は425億4千8百万円（前年同四半期比28.8%増）、セグメント利益は17億円（前年同四半期比47.8%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は50億6千1百万円（前年同四半期比1.8%増）、セグメント利益は3億2千8百万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は19億3千4百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は1億3千万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

④その他

売上高は4億2千万円（前年同四半期比7.9%増）、セグメント利益は3千8百万円（前年同四半期比754.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて98億円増加し、954億4千3百万円となりました。これは主に、売上高増加による売上債権の増加によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて89億8千1百万円増加し、510億9千1百万円となりました。これは主に、売上高増加による仕入債務の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて8億1千9百万円増加し、443億5千2百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、本年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,454	18,290
受取手形及び売掛金	19,158	23,405
商品及び製品	8,323	10,518
仕掛品	3,304	636
原材料及び貯蔵品	2,166	2,426
その他	1,727	4,595
貸倒引当金	△209	△295
流動資産合計	49,926	59,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,566	27,386
減価償却累計額	△18,224	△18,334
建物及び構築物（純額）	9,342	9,052
土地	10,236	10,467
その他	21,578	21,604
減価償却累計額	△15,193	△15,250
その他（純額）	6,384	6,354
減損損失累計額	△653	△642
有形固定資産合計	25,310	25,231
無形固定資産		
のれん	31	28
その他	279	274
無形固定資産合計	310	302
投資その他の資産		
投資有価証券	6,948	7,384
その他	3,411	3,213
貸倒引当金	△263	△266
投資その他の資産合計	10,096	10,332
固定資産合計	35,717	35,866
資産合計	85,643	95,443

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,518	18,858
短期借入金	4,000	5,640
未払法人税等	1,090	891
賞与引当金	602	773
その他	6,648	6,830
流動負債合計	24,859	32,993
固定負債		
社債	80	60
長期借入金	12,495	13,456
退職給付引当金	2,023	1,952
役員退職慰労引当金	153	152
その他	2,497	2,476
固定負債合計	17,250	18,098
負債合計	42,110	51,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	24,570	25,230
自己株式	△2,990	△2,990
株主資本合計	37,830	38,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,356	1,620
繰延ヘッジ損益	66	40
為替換算調整勘定	240	166
その他の包括利益累計額合計	1,663	1,826
少数株主持分	4,039	4,035
純資産合計	43,533	44,352
負債純資産合計	85,643	95,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	40,278	49,963
売上原価	34,094	41,345
売上総利益	6,183	8,618
販売費及び一般管理費	4,902	6,717
営業利益	1,280	1,901
営業外収益		
受取利息	6	9
受取家賃	41	23
受取配当金	10	4
持分法による投資利益	—	10
その他	173	130
営業外収益合計	232	177
営業外費用		
支払利息	35	42
持分法による投資損失	1	—
賃貸原価	17	2
為替差損	—	25
その他	7	34
営業外費用合計	61	105
経常利益	1,451	1,973
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	14
特別利益合計	0	14
特別損失		
固定資産処分損	3	5
店舗閉鎖損失	18	11
ゴルフ会員権評価損	5	5
賃貸借契約解約損	10	—
その他	—	1
特別損失合計	37	23
税金等調整前四半期純利益	1,415	1,965
法人税等	625	875
少数株主損益調整前四半期純利益	790	1,090
少数株主利益	102	63
四半期純利益	687	1,026

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	790	1,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	266
繰延ヘッジ損益	20	△26
為替換算調整勘定	171	△74
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
その他の包括利益合計	201	164
四半期包括利益	991	1,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	882	1,190
少数株主に係る四半期包括利益	109	64

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食肉等の製 造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	33,033	4,973	1,881	39,888	389	40,278	—	40,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,638	30	39	1,708	35	1,744	△1,744	—
計	34,671	5,003	1,921	41,597	425	42,022	△1,744	40,278
セグメント利益	1,150	290	128	1,568	4	1,573	△292	1,280

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△292百万円には、セグメント間取引消去△18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△274百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食肉等の製 造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	42,548	5,061	1,934	49,543	420	49,963	—	49,963
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,847	41	46	1,935	39	1,975	△1,975	—
計	44,395	5,102	1,980	51,478	460	51,939	△1,975	49,963
セグメント利益	1,700	328	130	2,159	38	2,197	△296	1,901

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△296百万円には、セグメント間取引消去△38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△257百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。